

## 甲州イチゴ狩りバスツアーに参加して

任意継続 99 - 209 北村 勝昭 030910

ご縁があって関西から箱根の山を越え、アラビア石油にお世話になり 27 年があったという間に経ち、この正月に定年となり、アラビア石油健保組合に任意継続させて貰っている。健保主催のバスツアーには初参加の今年 2 月の信州イチゴ狩りに続き、今回の甲州ブドウ狩りが 2 回目となる。

現役の時はカフジ・塘沽（タングー）・蛇口（シェコウ）への海外赴任が約 20 年あり、東京本社に在籍していたのは飛び飛びで数ヶ月から一年数ヶ月間、前の丸の内・富士ビルにいただけで、築地・聖路加タワーには在宅勤務と定年退職の辞令を貰う為、4 回ほど通ったのみなので、バスツアー参加者（9 割ほどが女性）の内、名前と顔が判る人はほんの数人であった。従い現役の方々には見慣れない変な顔のオジサンがまぎれ込んでいると思われたに違いない。

ハトバスは、2 月の時のように出発時いきなり故障で動かず代替車を待ったり、関越道が出発早々渋滞と判り急遽中央道経由八ヶ岳東麓を走るといった事も無く、霞ヶ関 IC から八王子 IC を過ぎるまでは順調に進んだが、小仏トンネルを抜け談合坂 SA に差し掛かると、予報に反して霧雨となり気象庁を恨んだりする内、笹子トンネルを抜け甲府盆地に入ると雲が薄くなり、所々晴れ間も出て一安堵するも、渋滞となり昇仙峡のロープウェイ傍の夫婦木神社下の散策出発地点には結局 40 分遅れの 11 時 40 分となった。

途中のトイレ休憩で感じたが、このバスツアーにも見られるように、女性の数が多く女性トイレの前は何処も長蛇の列で、バスもそれに合わせて遅らさざるを得なくなっている。道路 4 公団は 40 兆円の負債を抱えているというが、そのファミリー企業は何処も利益を出しているようなので、各地の温泉旅館の多くが既に大浴場の広い方を女性用にするサービスを実施しているように、SA や PA の女性トイレをそのファミリー企業の利益で大幅に拡充して、利用客の変化に対応すべきであると思う。

昇仙峡散策は始めの内は土産物屋の軒先を避けながら歩く感じで、景色を眺めるどころではなかったが、仙娥滝はこの夏の雨続きのせいか水量が多く初めての当方には見事な眺めであった。遊歩道は迷い易いからとわざわざ若い男性添乗員が先導を務めてくれたのには少し驚いた。女性バスガイドは別にいるのだが、彼女はバスの中の案内サービスだけで、ツアー指揮や散策・食事などの誘導は男性添乗員が行なうとワークシェアリングしているようだ。数泊のツアーにはどの会社も別々に乗せるのは一般的だし、日帰りのツアーでは以前はガイドがツアコンも兼ねていたように思うが、人件費の高い日本でハトバスのようなやり方が残っているのは、この厳しい時にいささか奇異に感じられた。

時間があれば遊歩道の全コースを歩きたかったが、全体の 3 分の 1 ほどで切り上げなければならないのは日帰りツアーの場合仕方なく、残りは別の季節に個人で歩く事にしたい。

バスは再び甲府盆地に下って石和に向かったが、笛吹川沿いの住宅地の中にあるような温泉街で旅館・ホテルの数の多さに感心したが、渋滞がなければ都心から 2 時間ほどで着く温泉地だから当然かも知れない。ホテルふじ到着後、例によって男性添乗員の誘導でビュッフェ会場に向かう。年令のせいかわさく甘ったるい料理が多く選ぶのに苦労したが、食事後バスに戻って若い女性達が「ああ、美味しかった」と満足げに話していたので、彼女等には丁度合う内容だったようである。

お目当てのブドウ狩りは古柏園到着後先ず 3 種類のブドウを味わいながら係りの説明を聞き、主に巨峰を 4 房摘み取ったが、かろうじて計量にパスしたようである。

古柏園をやはり 40 分遅れの 15 時 40 分に出発し、バスはすぐ傍の勝沼 IC から中央道に入ったが、たちまち渋滞に巻き込まれ、相模湖 IC 通過までに 2 時間も掛かってしまった。その間何台もの車とゆっくり並びながら走り気づいた事だが、意外に「わ」ナンバーのセダン・ワゴン・マイクロバスが多く目についた。数人から十数人のグループで必要に応じレンタカーで出掛けるとするのは個人所有よりも合理的で、これからの少人数ツアーに合いそうな気がする。筆者自身もこの 2 年弱で 12000 km しか走っていないので、近くはタクシー、ツアーにはレンタカー利用を、次の買い替え時には比較検討しようと思う。

渋滞のお蔭で周りをゆっくり見る余裕が出来たが、朝の行き同様笹子から小仏の間は霧雨であった。高速道脇の丘の上に十数基のお墓が見えた。道路は後から作られたので仕方がないだろうが、さぞかし墓に眠る仏様達はうるさいだろうと同情する。たまたま最近同窓会で会ったふたつ上の先輩は地方出身の四男で、定年後の今は首都圏に住んでおられるが、地元の墓は兄やその子供が守っているので、本人は色々考えた末、結局お墓は作らず、妻と子供には海に散骨するよう頼んだと言う。孫かひ孫の代で誰もお参りに来なくなる可能性の高い墓を作るより、本人の希望する場所に散骨するやり方は、都営青山墓地に 1 区画 500 ~ 1000 万円の権利金を払い建立するより、これからの日本を考えると一案である。

渋滞の途中、脇見運転によると思われる軽微な 3 台玉突き事故を見ながら、バスは八王子付近から順調に走り出し、40 分遅れの 19 時 10 分新宿駅西口に到着した。欲を言えばもう少し森や川・湖畔を歩くツアーにして欲しいが、参加者の 8 ~ 9 割が女性では買い物や食べ物中心の企画にならざるを得ないだろうか。また他県方面の森林散策ツアーも一考の余地があるように思われる。次回の新企画を期待したい。シュクラン・非常感謝

完